



# 香川県葬祭業協同組合



理事長  
河崎和義氏

四国4県と本州を陸路で結ぶ瀬戸大橋(1988年全線開通)を有する香川県。県域面積1,876.77km<sup>2</sup>は、47都道府県のなかで最も狭い。その極小な地に人口約93万人が暮らす、人口密度496人/km<sup>2</sup>(2023年統計)のマーケットだ。

県内の年間死亡数は1万2,183人(うち男性6,138人、女性6,045人)で、死亡率(人口千対)は13.0と全国の11.1を上回っており47都道府県中、死亡率の高いほうから16番目。市町別にみると、琴平町、小豆島町、直島町などが高率で、宇多津町、丸亀市、高松市などが低率となっている(いずれも2020年・香川県保健統計年報)。

年間を通じて天気や湿度が安定する瀬戸内海式気候と、日照時間の長さを背景に、かつては「塩田王国」香川と称された。他の四国3県に比べて鉄道網が充実しており、県都高松市は中核市である。その高松市に本部を構えるのが、香川県葬祭業協同組合(香川、

本稿では香葬協と略す)である。

## 任意組合を母体に 1974年、協同組合に

香葬協の前身は、1967年に任意団体として創設された香川県霊柩葬祭組合。74年に香川県葬祭業協同組合に名称変更し、香川県知事認可団体として新たなスタートを切る。

香葬協初代理事長を務めたのは、現在、事務局が置かれている(株)公益社の吉田二郎氏(故人)。吉田氏は14期28年間の長きにわたり理事長を務め、2002年5月に開催された定時総会で二代目理事長永野浩知氏(株)公益社)に引き継がれた。なお、初代理事長吉田氏は、94年5月から2004年5月まで、全葬連第三代会長としてその職責を全うしている。

その後を継いだのが、現在、三代目理事長を務める河崎和義氏(株)坂出葬儀社代表取締役、坂出市)である。河

崎理事長は、香葬協の理事長職のほか、全葬連四国ブロック会副会長、全葬連事業開発委員会副委員長、葬祭ディレクター技能審査協会中央技能審査員のほか、四国霊柩自動車協会常任理事、香川県霊柩自動車協会副会長、全国霊柩自動車協会委員などの職にも就き、香川県のみならず全国組織の要職も歴任している。

## コロナ禍中、4社が新規加盟 フラットな組織づくりに注力

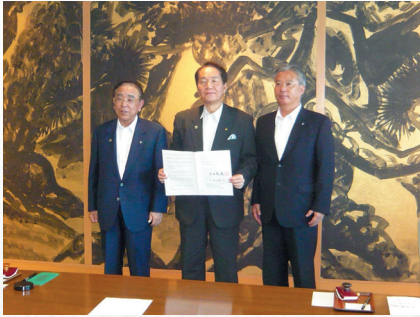
香葬協に加盟する会社は現在16社。そのうち、4社は昨年、正式加盟が承認されたばかりとのこと。

香葬協では、以前から「組合員の取り扱う葬儀用品の共同購買事業」「組合員の事業活動の共同宣伝広告」「組合員の事業に関する経営および技術の改善向上または組合事業に関する知識の普及を図るための教育および情報の提供」「組合員の経済的地位の改善のためにする団体協約の締結」「災害時における緊急対策実施体制の確立に関する事業」「組合員の福利厚生に関する事業」のほか、「上記に掲げる事業に付帯する事業」に取り組んできたが、近年のコロナ禍によって、リアルな会合の実施もままならず、オンライン会議などでの打合せが余儀なくされた。

それゆえ、直近の2年ほどは具体的な活動すらできない状況にあったそうだが、コロナ禍によって加盟各社の意識に変化が出てきたことを指摘する。

図表 香川県葬祭業協同組合の組織体制

役職	氏名	社名	所在地
代表理事(理事長)	河崎和義	(株)坂出葬儀社	坂出市
副理事長	湯口弘章	(有)ゆぐち装飾	三豊市
	岩倉成樹	(株)岩倉彩雲堂	観音寺市
専務理事	永野公隆	(株)公益社	高松市
理事	永野浩知	(株)公益社	高松市
	吉田正人	(有)花輪のよしだ	丸亀市
	谷久浩一	(株)小豆島互助センター	土庄町
	安松一郎	(株)安松	さぬき市
監事	藤森茂子	(有)フジモリ	さぬき市
	東 雅臣	(株)コトヒラ公益社	琴平町
	伊藤雄介	(株)綾川葬祭	綾川町
	河田啓二	(株)河田葬儀社	さぬき市
	松本淳一	(有)まつもと	観音寺市
	松本光代	(有)松本造花	東かがわ市
	宮武博文	(株)みやたけ さぬき合掌殿	三豊市
大木彰人	(株)ヤマモト典礼	三豊市	
	片岡政和	(有)かたおか	丸亀市



県域面積が最も小さい香川県という特性から、災害協定については県、全葬連、香葬協の3者間で締結（2012年7月）。右端が河崎理事長

前述のように、現在、香葬協に加盟する会社は16社だが、新加盟4社が加わったのはコロナ禍中のことだった。この点について、河崎理事長は、「コロナ禍は、あらゆる業界に打撃を与え、これまでのビジネスモデルの多くが崩壊しました。葬祭業においても、“コロナ感染遺体”の取扱いについて、対応策が迷走していたことはご存じのとおりです。そうしたなか、非加盟の葬儀社からどのように取り扱うべきかという相談も個別に入りました。そこで、このコロナ禍を乗り切るためには香葬協加盟の会社だけが知り得た知識を共有するのではなく、業界全体として県内の葬送文化を守るべきと思ったのです。加えて、そうした思いを抱く加盟社も多くなったことから、これまで非加盟だった専門葬儀社に声かけをし、理事会の承認を経て正式加盟に至ることになった」と語る。

新しい仲間がふえた香葬協には、他県の単組にみられるような委員会は以前からなかったといい、実にフラットな意見交換がなされる土壌が育成されていた。「加盟社が数多くあれば、各種委員会を設けてそれぞれの役割を担ってもらうこともありでしょうが、それでは自らが担当する委員会以外の活動については興味をもたなくなってしまう可能性もあります。そうではなく、各種議題に対して各社が思うことを意見してもらったほうが、生きた会

# ご葬儀の 事前相談 受付中

「家族葬」など お葬式のこと  
お気軽に下記 葬儀社へお電話ください



経済産業大臣認可 全葬連 加盟 **香川県葬祭業協同組合** の葬儀社へ  
私たち組合員は、「エッセンシャルワーカー」として 地域の皆様に寄り添い 対応しております。

西讃地区	中讃地区	小豆地区	東讃地区
ゆくち 三豊市高瀬町 ☎0875626474	花輪のよした 丸亀市土器町東 ☎0877562626	小豆島互助センター 土庄町上庄 ☎0879692505	河田葬儀社 さぬき市大川町 ☎0879432065
岩倉彩雲堂 観音寺市茂西町 ☎0875622247	ゆうゆのもり 丸亀市天満町 ☎0875627799	織川葬祭 観音寺市土器町北 ☎087964775	フジモリ さぬき市高松 ☎0879432065
ヤマト興礼 三豊市山本町 ☎0875633160	岩倉彩雲堂 観音寺市茂西町 ☎0875622247	公益社 高松市藤塚町 ☎0879432242	松本造花 東かがわ市三本松 ☎0879250816
まつもと 観音寺市豊浜町 ☎0875625099	コトヒラ公益社 琴平町五條 ☎0877542242	坂出葬儀社 坂出市久米町 ☎0877562626	安松 さぬき市長尾東 ☎0879692109

県内で発行される地元紙誌に香葬協全体をPRする広告の一例

議になる」と河崎理事長。そうした意味においては、新規加盟した4社に係る期待も大きいということだろう。

なお、23年度は5月に新型コロナウイルス感染症が五類に移行することから、久しぶりにリアルな総会実施も予定する。その際、各社の取引関係先も一堂に会し、オール葬祭業の親睦を深めることで、関係業者も交えたフラットな関係づくりと各社の協力体制をより強固にしていく構えだ。

## 県内向け経済誌に香葬協をPR 次代を担う若手世代に禅譲を企図

香川県内では、昨今の高齢化率の高まりとともに異業種からの新規参入もふえ、競合激化は避けて通れない状況となっている。

「係る状況を受け、昨今は地元紙誌から葬儀に関する問合せや取材があれば、積極的にお受けすることで、香葬協、ひいては加盟各社のPRに努めています」と河崎理事長。その範囲は実に幅広く、地元フリーペーパーといった一般消費者が手にするものから、地元経済誌「かがわ経済レポート」といった誌面への登場など、まさに全方位的な活動を行なっている。その結果、地元経済誌を見た経営者層から葬儀を依

頼されることもあるとのことで、全方位的なPRが奏功したといえる。

コロナ禍によって県内の葬送環境は大きく変わり、葬儀規模が縮小したことによって経営難に直面する事業者もあつたという。だからこそ、河崎理事長はフラットな組織づくりで活発な意見交換ができる雰囲気づくりを重視し、全方位的なPRを行なうことで県内の葬送文化を守りたいとする意気込みをバネに香葬協を牽引してきた。

「だからこそ、新規に加盟した4社をはじめ、若い世代がこれからの香葬協をリードしていけるような雰囲気づくりにこれからは注力したい」と河崎理事長。

河崎理事長の想いは、今後、香葬協の土台を確固たるものにしていく若手経営者の育成に軸足を置いた活動に振り向けられていきそうだ。

### ■香川県葬祭業協同組合の概要

[所在地] 香川県高松市藤塚町3-8-9  
(株)公益社内

[発足年月] 1974年

[理事長] 河崎和義

[加盟社数] 16社 (2023年3月現在)

